

14. 建設リサイクル推進計画に基づくフォローアップ

簡易型建設副産物実態調査を実施し、経年変化を確認。
協議会を開催し、情報交換等を実施。

表. 建設廃棄物合計の再資源化・縮減率推移

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
近畿地整	93.6%	88.7%	96.0%	85.6%	89.6%	78.0%	89.1%	94.9%	94.0%	86.6%
近畿農政局	98.7%	64.2%	84.2%	65.8%	87.9%	88.3%	97.7%	85.8%	92.6%	71.1%
都市再生機構	96.3%	92.5%	94.3%	97.0%	94.2%	97.2%	96.4%	96.6%	94.8%	84.6%
西日本高速道路	98.9%	97.7%	98.7%	94.4%	93.6%	97.4%	98.9%	95.7%	91.0%	88.7%
阪神高速道路	98.7%	98.4%	98.2%	85.3%	95.6%	98.4%	89.5%	96.9%	93.1%	97.9%
日本下水道事業団	94.1%	90.8%	77.5%	60.4%	37.6%	99.8%	99.0%	42.1%	11.9%	16.0%
水資源機構	97.0%	86.7%	92.4%	94.7%	95.3%	92.8%	86.6%	96.6%	94.6%	95.7%
本四連絡高速道路	99.7%	99.7%	99.7%	-	99.6%	99.6%	-	-	92.9%	99.6%
関西エアポート	-	-	-	-	98.6%	99.8%	99.8%	99.6%	99.0%	99.8%
福井県	96.9%	97.4%	96.8%	81.4%	93.0%	98.1%	97.2%	97.8%	96.4%	96.1%
滋賀県	98.8%	97.1%	95.0%	98.0%	95.0%	96.8%	98.8%	98.8%	99.3%	96.3%
京都府	97.7%	96.2%	96.9%	95.4%	92.8%	99.0%	98.2%	97.2%	97.4%	96.8%
大阪府	96.6%	96.3%	95.4%	95.3%	94.6%	96.2%	95.3%	93.9%	89.5%	89.7%
兵庫県	98.9%	95.9%	91.2%	98.0%	96.3%	87.6%	97.1%	89.3%	74.9%	89.8%
奈良県	96.8%	98.4%	88.6%	93.0%	97.4%	98.2%	98.0%	99.0%	95.7%	96.7%
和歌山県	96.8%	95.7%	98.6%	98.3%	98.3%	95.3%	99.3%	97.4%	98.4%	73.9%
京都市	98.4%	97.7%	96.7%	86.5%	97.7%	98.3%	91.2%	94.1%	95.8%	98.0%
大阪市	96.2%	92.8%	94.3%	92.8%	91.4%	94.0%	93.6%	96.5%	93.9%	91.8%
堺市	92.8%	95.3%	94.1%	96.3%	96.2%	99.8%	98.7%	98.0%	97.8%	97.3%
神戸市	97.2%	98.4%	98.6%	98.8%	97.8%	98.3%	97.3%	98.0%	98.3%	97.8%
福井県内市町	98.7%	99.2%	98.3%	96.9%	98.0%	98.2%	97.2%	98.6%	97.5%	97.6%
滋賀県内市町	99.8%	94.8%	99.3%	98.2%	99.2%	80.8%	97.8%	99.6%	98.7%	96.6%
京都府内市町村	98.1%	96.7%	95.3%	92.9%	97.6%	98.5%	98.8%	88.3%	89.8%	91.7%
大阪府内市町村	93.8%	95.2%	94.9%	89.4%	92.4%	93.3%	95.2%	94.8%	95.5%	96.0%
兵庫県内市町	97.9%	96.3%	95.1%	98.4%	94.7%	93.6%	95.5%	98.3%	97.6%	97.9%
奈良県内市町村	97.7%	97.6%	90.9%	95.1%	98.9%	96.6%	96.6%	94.9%	96.9%	98.4%
和歌山県内市町村	91.1%	93.3%	97.1%	98.0%	97.8%	93.5%	98.4%	99.0%	91.5%	98.4%
近畿全体	96.3%	94.6%	95.5%	91.9%	94.3%	91.2%	94.9%	95.6%	92.9%	92.3%

推進計画2015のH30目標値を達成していない区分

14 . 建設リサイクル推進計画に基づくフォローアップ

高い再資源化率を維持していた品目では減少傾向。
再資源化・縮減率が低い建設混合廃棄物は上昇傾向。

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度 (暫定結果)	H30年度目標値
建設廃棄物全体	94.9%	95.6%	92.9%	91.2%	96%以上
アスファルト・コンクリート塊 (再資源化率)	99.2%	99.7%	99.4%	98.2%	99%以上
コンクリート塊 (再資源化率)	99.2%	99.0%	97.7%	96.5%	99%以上
建設発生木材 (再資源化・縮減率)	93.8%	93.6%	88.7%	88.0%	95%以上
建設汚泥 (再資源化・縮減率)	91.1%	86.9%	85.9%	83.6%	90%以上
建設混合廃棄物 (再資源化・縮減率)	36.0%	46.9%	56.4%	50.2%	50%以上
建設混合廃棄物 (排出率)	1.5%	1.1%	1.2%	2.8%	3.5%以下
建設発生土 (建設発生土有効利用率)	73.7%	79.5%	80.8%	73.5%	80%以上

推進計画2015の平成30年度目標値を達成していない区分

1 5 . 建設発生土情報交換システム更新

別表イ 再生資源利用計画書 -建設資材搬入工事用-

表面

1.工事概要			発注担当者チェック欄		請負会社名		記入年月日 H. 年 月 日	
発注機関名			発注機関コード*1		建設事務所または解体工事業者登録番号		工事責任者	
担当者			TEL ()		会社所在地		調査票記入者	
					TEL FAX ()			

建設資材 (新材を含む)				再生資材の供給元 (再生資材を利用した場合に記入してください)					再生資源
分類	小分類	規格	主な利用用途	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種別	施工条件内容	再生資材の供給元場所住所	再生資材利用量 (B)	利用率
コード*5	コード*6	コード*7	コード*8	コード*9	コード*10	コード*11	住所コード*4	コード*9	B/A×100
土砂								総量m ³	%
								総量m ³	%
								総量m ³	%
								総量m ³	%
								総量m ³	%

リサイクル把握の観点から、
工事間流用が決定した工事について、
建設発生土の搬入搬出量を「建設発生土情報交換システム」に入力してください。

別表ロ 再生資源利用促進計画書

1.工事概要 表面に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量		現場内利用		③減量	搬出先	公共 民間	km	再生資源利用
	種類別性状	用途	用途	用途					
第一種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間	km	再生資源利用促進率
第二種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先2	公共 民間	km	再生資源利用促進率
第三種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先3	公共 民間	km	再生資源利用促進率
第四種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間	km	再生資源利用促進率
資源土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先2	公共 民間	km	再生資源利用促進率
	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先3	公共 民間	km	再生資源利用促進率
資源土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間	km	再生資源利用促進率
	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先2	公共 民間	km	再生資源利用促進率
	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先3	公共 民間	km	再生資源利用促進率
合計	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先1	公共 民間	km	再生資源利用促進率
	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先2	公共 民間	km	再生資源利用促進率
	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³		搬出先3	公共 民間	km	再生資源利用促進率

裏面

基本的に施工する場合は、解体分と式を作成して下さい。

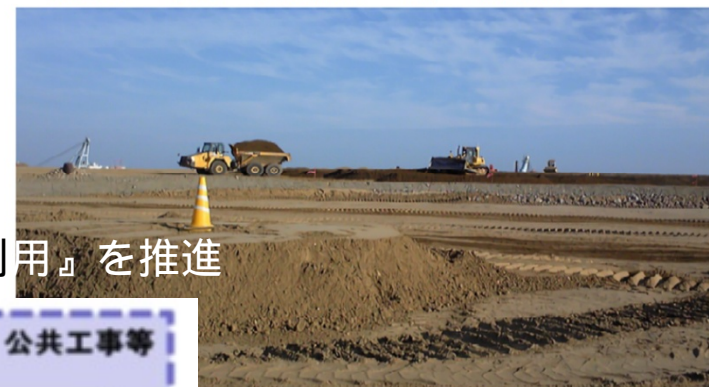
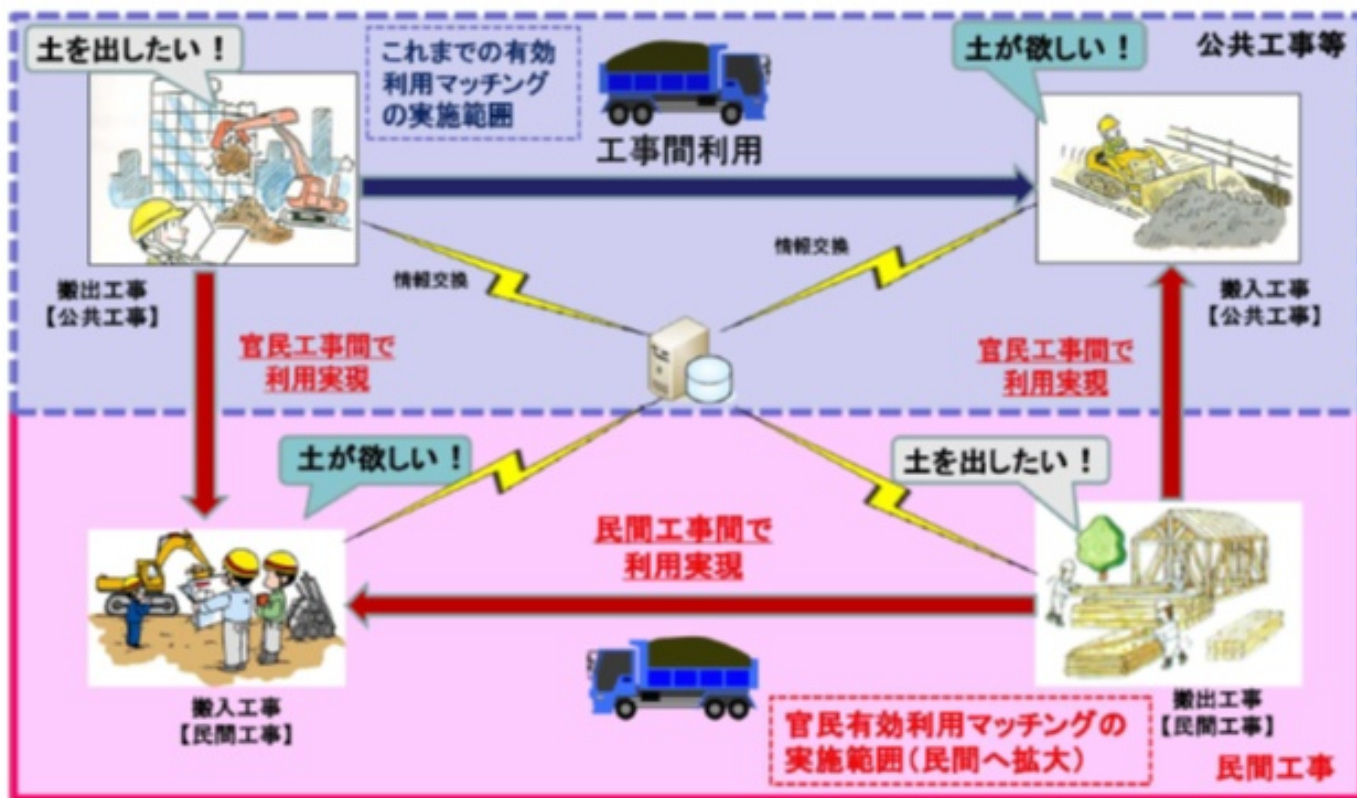
3分種」を選択した場合のみ記入)
1.掘削土 2.掘削土の水面埋立 3.谷間埋立 4.谷間埋立 5.掘削土 6.土の地

16 . 新たな取り組み

建設発生土の官民有効利用マッチングによる調整

- 公共工事、民間工事を問わず、
- ・ 建設発生土を搬出する工事《搬出工事》
- ・ 土砂を利用する工事《搬入工事》

土砂に関する情報交換を行い、『建設発生土の工事間利用』を推進



マッチングシステムは、国土交通省が平成26年9月に策定した「建設リサイクル推進重点施策の一つとして位置付けている建設発生土の有効利用・適正処理の促進強化」の土の相互有効利用のマッチング調整に必要となる情報提供を実施するものです。
利用手引については、こちらからダウンロードしてください。
[解説]については、こちらからダウンロードしてください。
マニュアルについては、こちらからダウンロードしてください。
マニュアル(案)(令和元年8月版)については、こちらからダウンロードしてください。
サンプルです。



参照：建設発生土の官民有効利用マッチングシステムホームページ
<http://matching.recycle.jacic.or.jp/index.html>

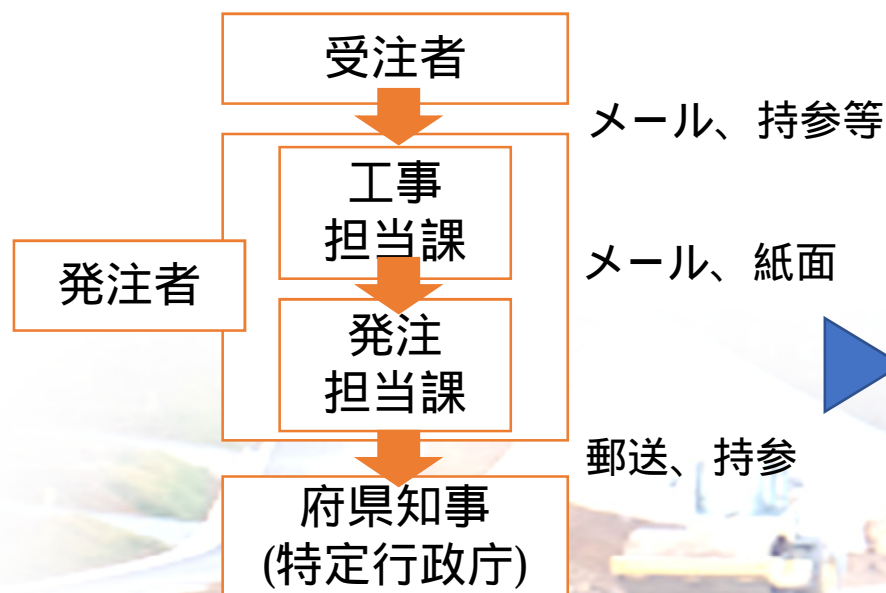
16 . 新たな取り組み

建設リサイクル法第11条通知の電子化

従来

郵送や持参などの紙面で通知

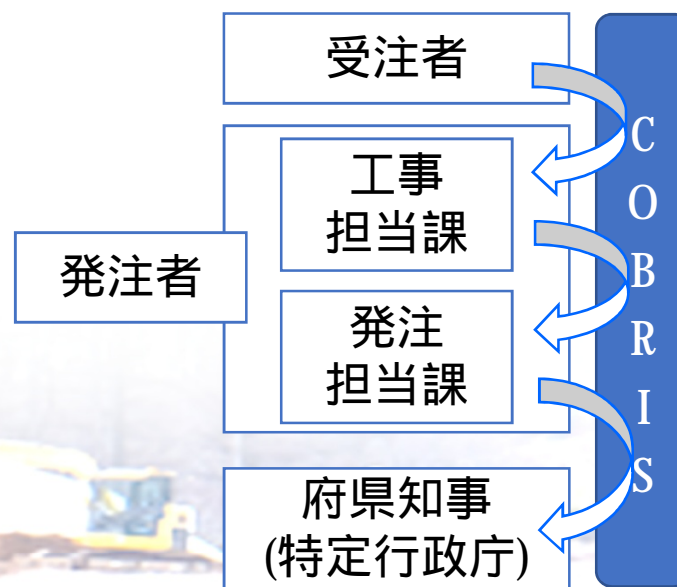
→時間と手間がかかる



電子化

建設副産物情報交換システム (COBRIS) を利用した電子手続き

→持参日数の削減、即時性の確保
データの一元管理。



滋賀県等で試行開始

参 考

建設リサイクル報告様式（Excel）の 入力について

建設リサイクル報告様式は再生資源利用〔促進〕計画書・実施書を作成するためのEXCEL様式。

(1) システム種類

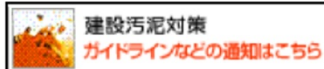
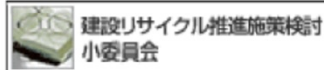
回答方法	提出方法	システム概要
COBRIS (建設副産物情報 交換システム)	提出省略 JACICサーバ保存	<ul style="list-style-type: none"> 関係者（発注者、元請業者、処理業者）の情報交換により建設副産物の需給バランス確保、適正処理推進、リサイクル向上、および資源有効利用促進法、建設リサイクル法、建設副産物実態調査の各種書類が作成できるWebオンラインシステム（有料）。 <p>http://www.recycle.jacic.or.jp/</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生資源利用促進率などの集計機能あり。
建設リサイクル 報告様式	エクセル ファイル を提出	<ul style="list-style-type: none"> 資源有効利用促進法、建設副産物実態調査の書類が作成できるExcelファイル（無料）。 <p>http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm</p>

注) H30センサス入力
シート

・建設副産物実態調査のファイルが作成できるエクセルファイル（**全国調査時のみ使用**：直近H30年度調査）。

[一般の方へ](#) [業者の方へ](#) [行政関係者の方へ](#) [その他](#) [関連リンク](#)

[ホーム](#) > [政策・仕事](#) > [総合政策](#) > [リサイクル](#) > [建設リサイクル推進施策 情報交換システム](#) > 建設リサイクル報告様式



契約工期開始日が令和元年5月1日以前の場合（平成30建設副産物実態調査含む）は、ページ下方の（H30センサ対応）建設リサイクル報告様式をご使用ください。

建設リサイクル報告様式

- [建設リサイクル報告様式\(計画書・実施書\)令和対応版v1.3](#) (EXCEL 1.36MB)
※契約工期開始日が令和元年5月1日以前の場合(平成30建設副産物実態調査含む)は、ページ下方の(H30センサ対応)建設リサイクル報告様式をご使用ください。
- [記入内容チェックツール\(令和対応版\)](#) (EXCEL(マクロ) 582KB)
- [記入内容チェックツール利用方法・エラー解説書](#) (PDF 898KB)
- [記入例](#) (PDF 444KB)

○建設リサイクル報告様式について

- ・建設リサイクル報告様式は再生資源利用[促進]計画書・実施書を作成するためのEXCEL様式です。マクロは使用しておりません。
- ・公共工事の場合、再生資源利用[促進]計画書・実施書は発注者が指定する方法により作成し提出してください。
- ・建設副産物情報センターが提供する建設副産物情報交換システム(COBRIS)は[こちら](#)です。
- ・お使いのパソコン環境(OSやExcelのバージョン)によっては、印刷範囲の調整が必要な場合があります。
- ・集計の関係上、様式の編集ができないようにブックとシートをパスワードで保護しています。解除はできません。

○記入内容チェックツールについて

- ・記入内容チェックツールは建設リサイクル報告様式で作成した再生資源利用実施書、再生資源利用[促進]実施書の記入内容をチェックするためのマクロを使用したツールです。
- ・再生資源利用計画書、再生資源利用[促進]計画書のチェック機能はありません。
- ・利用方法や各エラーに関する詳細は「記入内容チェックツール利用方法・エラー解説書」をご確認ください。

【公共工事等の受注者の皆様へ】

建設リサイクルとは

[建設リサイクルとは](#)

建設リサイクルの現状(と将来)

[建設副産物実態調査](#)

建設リサイクル推進施策

[施策・取組みの経緯](#)

[審議会等](#)

[関係法令](#)

[計画](#)

[通達・基準・マニュアル](#)

[情報交換システム](#)

[リサイクル等事例集](#)

[その他資料](#)

工事概要は1/4頁目の計画書に記入したものが3/4頁目に反映されます。

計画書(建リ法11条通知対応)は1/4,2/4頁目に記入、実施書(建リ法18条報告)は3/4,4/4頁目に記入

再生資源利用実施書

建設資材搬入工事用

「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再生資源化報告」対応版

1. 工事概要
大分類: 国土交通省
中分類: 関東地方整備局
小分類: 大高国道事務所
発注機関の選択間違いに注意
発注担当者: 建設太郎
法人番号: 0123456789012
元請業者が法人の場合、「法人番号公表サイト」で検索し法人番号を記入

2. 建設資材利用実施
工事名: 〇〇〇道路舗装修繕工事
工事施工場所: 埼玉県 さいたま市 中央区
工期: 令和1年7月15日から令和1年11月10日まで
万円で表示
建設・解体工事の場合は記入。ただし、解体工事については建築面積を記入しなくても可。

単位と選択間違いに注意
※解体工事については、建築面積を記入いただくなくても結構です。

Table with columns: 建設資材 (新材を含む全体の利用状況), 左記のうち、再生資材の利用状況, 再生資材の供給元施設、工事等の名称, 再生資材の供給元場所住所, 再生資源利用率. Includes detailed material usage data for concrete, asphalt, sand, and stone.

- Code lists for materials:
コンクリートについて
1. 生コン(再生骨材)
2. 再生生コン(Co再生骨材)
3. 再生生コン(Co再生骨材)
4. 再生生コン(Co再生骨材)
5. 再生生コン(Co再生骨材)
6. 再生生コン(Co再生骨材)
7. 再生生コン(Co再生骨材)
8. 再生生コン(Co再生骨材)
9. 再生生コン(Co再生骨材)
10. その他

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください。
※最後に必ず印刷して確認してください。

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工専用ー

解体と新築工事を一体的に施工する場合は、搬出工専用は解体分と新築分に分けてエクセルファイルを作成

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出実施

単位間違いに注意

建設副産物の種類	①発生量 (個数等) =②×③÷④ 小数第3位まで	現場内利用・減量			現場外搬出について										再生資源利用促進率 ⑤÷②×100(%) (①)
		②利用量 *10 小数第3位まで	③減量 *11 小数第3位まで	④減量化 *12 小数第3位まで	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分	施工条件の内訳 2*1+12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 *5 km	搬出先の種類 *6 1:13	④現場外搬出量 小数第3位まで		⑤再生資源利用促進量 小数第3位まで	
コンクリート塊	112,000 トン	40,000 トン			搬出先1 ○○リサイクル(株)○○工場	民間		埼玉県上尾市1-1-1	11219	10	5.中合利	72,000 トン	72,000 トン	100%	
建設発生木材A (木材の端材等) 建設発生木材B (木材の端材等)	10,000 トン				搬出先1 ○○(株)チップ化工場	民間		埼玉県川越市2-2-2	11201	15	5.中合利	8,000 トン	8,000 トン	80%	
アスファルト コンクリート塊	302,000 トン				搬出先2 (株)○○ 中間処理施設	民間		埼玉県さいたま市中央区1-1-1	11105	5	7.焼却				
その他がれき類	1,000 トン				搬出先1 ○○道路(株)××工場	民間		埼玉県さいたま市浦和区3-3-3	11107	15	5.中合利	302,000 トン	302,000 トン	100%	
建設発生木材B (木材の端材等) 建設発生木材C (木材の端材等)	2,000 トン				搬出先2 □□粗分場	民間		埼玉県さいたま市浦和区3-3-3	11107	15	5.中合利	1,000 トン	1,000 トン	0%	
建設汚泥	300,000 トン				搬出先1 ○○(株)チップ化工場	民間			11201	15	5.中合利	2,000 トン	2,000 トン	100%	
金属くず	27,000 トン				搬出先2 △△(株)	民間			13123	40	5.中合利	300,000 トン	300,000 トン	100%	
廃塩化ビニル管・継手	1,200 トン				搬出先1 ○○合資株	民間			3-3	11107	13	1.売却	27,000 トン	27,000 トン	100%
廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	1,800 トン				搬出先2 ○○リサイクルセンター	民間			11219	15	5.中合利	1,200 トン	1,200 トン	100%	
廃石膏ボード	0.000 トン				搬出先1 ○○リサイクルセンター	民間		埼玉県上尾市4-4-4	11219	15	5.中合利	1,800 トン	1,800 トン	100%	
紙くず	0.000 トン				搬出先2										
フェルト (敷設性)	0.000 トン				搬出先1										
その他の分別 された廃棄物	0.000 トン				搬出先2										
資源回収の廃棄物 (建設発生廃棄物)	0.000 トン				搬出先1										
第一種 建設発生土	2,000,000 地山m ³	20,000 地山m ³			搬出先1 建設現場	公共	A指定処分	東京都港区○○1-1-1	13103	33	2.他工場	1,300,000 地山m ³	1,300,000 地山m ³	100%	
第二種 建設発生土	0.000 地山m ³				搬出先2 ☆☆☆☆工事	民間	A指定処分	東京都足立区○○2-2-2	13121	28	2.他工場	700,000 地山m ³	700,000 地山m ³	0%	
第三種 建設発生土	1,020,000 地山m ³				搬出先1 ☆☆☆☆工事	公共	A指定処分	東京都港区××2-2-2	13103	32	2.他工場	603,000 地山m ³	603,000 地山m ³	59%	
第四種 建設発生土	0.000 地山m ³				搬出先2 ○○○○受入場	民間	A指定処分	埼玉県川口市○○3-3-3	11231	20	10.土捨て	422,000 地山m ³	422,000 地山m ³	0%	
資源回収の廃棄物 (建設発生土以外の廃棄物)	0.000 地山m ³				搬出先1										
資源土	0.000 地山m ³				搬出先2										
建設汚泥を除く	0.000 地山m ³				搬出先1										
合計	3,025,000 地山m ³	20,000 地山m ³			搬出先2							3,025,000 地山m ³	3,025,000 地山m ³	86%	

現場内利用があった場合は、前頁の2.建設資材利用実施にも必ず記入

エクセル印刷範囲外にある住所コード検索機能で検索し、転記。転記間違いに注意。
※現場内利用の場合は、工事施工場所コードとあっているか確認

品目毎の搬出先施設、工事等が3箇所以上ある場合は、シート2枚目以降を利用してください。

距離は整数入力

注記) 一般廃棄物は記入しないで下さい。
土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

施工条件について
1.A指定処分
(免注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(免注時には指定されていないが、免注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(炭酸塩)

建設発生土の場合
1.売却
2.他の工事現場(内陸)
3.他の工事現場(海面)
ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード
(再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
10.土捨て・残土処分

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください。
※最後に必ず印刷して確認してください。